

平成29年度 事業報告書

高槻市への交通アクセスをみると、平成28年3月の特急「はるか」の朝夕停車や、平成29年3月からは特急「サンダーバード」も一部停車が実現し、さらに高槻市にとって念願であった新名神高速道路の高槻ジャンクション、インターチェンジが同年12月10日に開通し、交通アクセス環境も大きく変化することになりました。

こうした中で、高槻市にとって交通の大動脈の一つである阪急京都線の阪急高槻市駅構内に、広く市内外に観光情報を発信する拠点として、高槻市観光情報コーナーが整備されることになり、協会設立50周年の記念する年を前に、平成29年12月25日から観光協会の事務所も高槻市観光情報コーナーの一面を占め、現在のJR高槻駅観光案内所とともに高槻市の主要駅に観光拠点を構えることになりました。

また、平成28年度からスタートした「オープンたかつき」事業について、高槻市、高槻商工会議所、高槻市観光協会との連携を図りながら、一年を通して、市内外の人たちが、自然、文化、まち、食、歴史など高槻市の多彩な魅力をまち歩きや体験プログラム型ツアーとして展開しました。

さて、高槻市観光協会は、平成30年に設立50周年の大きな節目の年を迎えることとなりますが、次の50年を視野に入れ、これまでの観光協会のイメージの刷新を図るため、昨年度においてホームページのリニューアルを行いました。本年度においては、たかつき観光大使を委嘱したのを始め、ロゴマーク（議案書表紙に記載）とともに新名神の開通に伴い「知るほど・なるほど高槻観光マップ」の更新を行いました。

引き続き、高槻市の新たな観光スタイルの確立や市内の観光気運の醸成を図ることを通じて、地域経済への波及効果により地域経済の活性化と市内産業の発展に貢献する組織として、期待される観光協会となれるよう努力してまいります。

なお、本年度の事業実施内容の詳細については、2. 事業報告のとおりであり、資料1に示す事業体系図に基づき観光事業を実施しました。

1. 事項目別状況

(1) 会議

(ア) 平成29年度

通常総会 平成29年5月30日 於) 高槻現代劇場会議室

(イ) 理事会

第1回	平成29年	5月12日	於) 高槻市観光協会会議室
第2回	平成29年	5月30日	於) 高槻現代劇場会議室
第3回	平成29年	8月29日	於) 高槻市観光協会会議室
第4回	平成30年	1月30日	於) 旧高槻市観光協会会議室
第5回	平成30年	3月27日	於) 旧高槻市観光協会会議室

(ウ) 役員会 (代表理事・業務執行理事)

第1回	平成29年	5月2日	於) 高槻市観光協会会議室
第2回	平成29年	7月28日	於) 高槻市観光協会会議室
第3回	平成30年	1月22日	於) 旧高槻市観光協会会議室
第4回	平成30年	3月27日	於) 旧高槻市観光協会会議室

(2) 監査 平成30年 5月 9日 於) ミング阪急高槻内会議室

(3) 組織 (平成30年3月31日現在)

ア. 正会員	168名
イ. 顧問	1名
ウ. 役員 理事	19名 監事2名

2. 事業報告

(1) 観光企画事業

A. 観光協会主催事業

①平成29年摂津峡さくら祭り

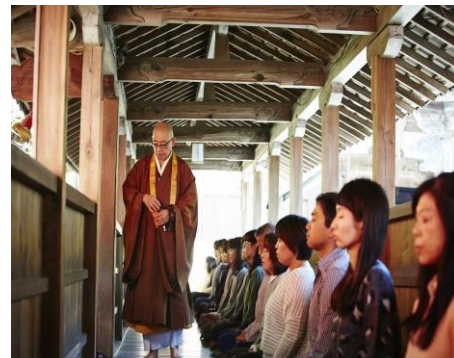
平成29年の摂津峡さくら祭りは、3月25日（土）～4月9日（日）にわたり、桜広場等にボンボリや提灯を掲飾し、イベント日を2日間とし、開花まじかのさくらの下で、お茶席などとともに食の文化祭出店店舗の協力を得て、摂津峡さくら祭りを実施しました。期間中の来園者数は、9,589人でした。



平成29年摂津峡さくら祭り風景

②紅葉の神峰山寺、写経と座禅の集い

「オープンたかつき」事業の一環として、紅葉の季節に併せて神峰山寺の協力を得て、近藤住職の講話と座禅・写経の会を行い、高槻市にある1,300年以上の歴史を有する神峰山寺の歴史文化を紹介しました。本年は11月15日（水）に開催し、座禅会と写経会に30名の参加がありました。



神峰山寺での写経と座禅風景

③伊勢寺で楽しむ十三夜観月会

「オープンたかつき」事業の一環として、高槻市内古曽部地域にある伊勢寺において、11月1日（水）午後6時から、50名の参加をえて、十三夜観月会を開催しました。地元の食材を使った夕食のあと、十三夜の満月の下で、平安時代の歌人伊勢姫所縁の伊勢寺の松浦住職による講話と、伊藤志野師と武林燐山師の箏と尺八の演奏を聴きながら、秋のひと夜を過ごしました。



十三夜観月会風景

④富田地内町巡りと「壽酒造」「清鶴酒造」の酒蔵見学会

「オープンたかつき」事業の一環として、蔵元が新酒を仕込まれるこの時期に併せて実施しました。本年度は、歴史のある高槻富田の地場産業（酒造）の紹介と、三輪神社の宮司のお話とボランティアガイドの紹介により本照寺、清蓮寺などを巡り、富田地内町の魅力を紹介しました。壽酒造（株）・清鶴酒造（株）の協力により、2月15日（木）の午前・午後の2回に分けて開催し、午前・午後それぞれ20名の参加がありました。



酒蔵の見学風景

⑤高槻市観光協会設立50周年記念第37回たかつき芸能フェスティバルの開催

日本の伝統文化である日本舞踊の継承と発展を目的に、3月18日（日）高槻現代劇場大ホールにおいて、15会派98名が参加して踊りを披露しました。今年度においては、37回を数える芸能フェスティバルへのご努力に対し、高槻市観光協会設立50周年を記念し感謝状の贈呈式を行いました。



芸能フェスティバル風景

⑥ 第14回たかつき和太鼓フェスティバルの開催

3月4日（日）午後2時00分から高槻現代劇場大ホールにおいて、学生たちが主催する「たかつき和太鼓フェスティバル実行委員会」により開催されました。市内の和太鼓グループや高校・大学の和太鼓クラブ9チームが集まり、高槻市観光協会は、これらの活動を応援し、「太鼓のまち高槻」を押し進めるために共催参加しました。



和太鼓フェスティバル演奏風景

B. 観光協働事業

① 「オープンたかつき」の共催

平成28年度からスタートした「オープンたかつき」は、市内外の人たちが、高槻の多様な魅力に触れ、観光することのできる、まち歩きや体験プログラム型のツアーを新たに展開しようと、高槻市、高槻商工会議

所、高槻市観光協会で構成する「オープンたかつき運営会議」が主催し、事務局は高槻市観光協会において実施しています。

平成29年度では、「オープンたかつき2017春」（4月～6月）については41プログラムを、「オープンたかつき2017秋」（10月～12月）では63プログラムを、「オープンたかつき2018新春」（1月～3月）は36プログラムを年間通じて集中実施いたしました（一部プログラムは、既存事業のPR）。

その結果、募集定員3,243人に対して参加者数は2,694人で、参加率としては約83%でした。参加者属性をアンケートの集計結果からみると、性別では有料プログラムは女性7割強、無料プログラムは男女比4対6、年代は有料・無料プログラムとも約60%が50歳代以上で、職業別では約50%が主婦で、会社員、自営業、学生と続きます。居住地別では、有料・無料プログラムとも8割前後が市内ですが、「謎解きゲーム」の実施結果を加えると市外からが52%となり、同ゲームの愛好者が市外から来られていることが分かります。



オープンたかつきプログラム実施風景

② 高山右近列福記念献茶式と特別講演会の協賛実施

平成29年2月7日に行われた高山右近列福式の記念事業として、平成29年4月25日（火）に実施された裏千家千玄室大宗匠によるカトリック高槻教会での献茶式と「キリシタンと茶の湯」と題して特別講演会が開催され、高槻市観光協会は協賛団体として参画しました。



千玄室大宗匠による献茶式

③ 第48回市民フェスタ高槻まつりへの参加

第48回市民フェスタ高槻まつりは、高槻まつり振興会の主催で8月5日（土）・6日（日）の2日間に亘り行われ、2日間で延べ150,000人の来場者（主催者発表）がありました。高槻市観光協会は、芸能フェスティバル出演の各会派を中心に、5日の高槻音頭おどり連に132名が参加しました。



観光協会おどり連パレード

④ 天神まつりへの出店参加

天神まつりは、平成30年2月25日（日）・26日（月）の2日間、JR高槻駅北ロータリーで午前10時～午後9時頃の時間帯で行われました。「天神さん」の愛称で親しまれる上宮天満宮に由来するこの祭りは、天神まつり実行員会によって運営され、観光協会は、福井漁連小浜支所や姉妹都市若狭町の協力を得て、恒例の「魚市」や若狭町特産品販売などで出展参加いたしました。



天神まつり風景

⑤ 第26回こいのぼりフェスタ1000への参加

こいのぼりフェスタ1000推進協議会の主催で、4月24日（月）

～5月6日（土）の期間で、イベント開催日を4月29日（土・祝）として、第26回こいのぼりフェスタ1000が芥川桜堤公園において開催されました。観光協会は、推進協議会のメンバーとして出店参加しました。



こいのぼりフェスタ 1000 風景

⑥ 第26回高槻シティハーフマラソンへの参加

平成30年1月21日（日）、高槻市陸上競技場をスタートに高槻市南部の淀川沿を走るコースで開催されました。今大会は、天候にも恵まれた中で、6,759人の参加者（参加申込8,003人）があり、観光協会は高槻シティハーフマラソン実行委員会のメンバーとして係わり、大会当日のスタッフとして参加しました。



高槻シティハーフマラソンスタートの風景

⑦ 第19回高槻ジャズストリートへの参加

高槻ジャズストリート実行委員会が主催する高槻市の一大イベントで、5月3日（水・祝）4日（木・祝日）の2日間に亘り、市内63会場、788バンド、約4,000人以上が出演し、市内外から多くの来客者で賑わいました。

観光協会においては、ジャズストリートを後援し、海外からの演奏者と

のウェルカムパーティーを共催するとともに、高槻観光を紹介するブースに出店し、市内観光のポスター掲示やチラシ等の配布を行いました。



高槻ジャズストリート第1中学校会場

⑧ 第9回食の文化祭への参加

食の文化祭実行委員会が主催する事業で、10月14日（土）・15日（日）の2日間にわたり高槻市立第1中学校グランド及び城跡公園一帯で、約60店舗の出店により開催されましたが、生憎15日（日）は雨天のため中止となりました。したがって、観光協会は14日（土）のみ観光を紹介するブースに出店し、オープンたかつきのポスター掲示を配布や謎解きゲームなどの販売を行いました。



前年度出店風景と来場者風景

⑨ 第25回淀川三十石船舟唄全国大会への参加

11月23日（木・祝）開催の「淀川三十石船舟唄全国大会」に、同実行委員会の構成員として参加しました。淀川三十石船舟唄は大阪府・高槻市無形民俗文化財に登録されており、当日は近畿圏を中心に、ジュニアの部26名も含めて全国から253名の出場者があり、日頃の鍛錬の成果が披露されました。



淀川三十石船舟唄全国大会風景

⑩ 「まるごと高槻」への参加

高槻市と高槻商工会議所とともに、高槻市の魅力をより多くの人に知ってもらい、高槻市に来ていただこうと平成29年10月7日（土）に大阪ステーションシティアトリウム広場で、高槻市観光PRイベント「まるごと高槻」に参加しました。引き続き、高槻市と高槻商工会議所と確りとした連携のもとに、高槻市の観光のPRに努めてまいります。



大阪ステーションシティアトリウム広場「まるごと高槻」とたかつき観光大使の活動風景

⑪ 「たかつき産業フェスタ」への参加

今年度の「たかつき産業フェスタ」は、高槻商工会議所創立70周年記念事業の一環として、平成29年11月18日（土）、19日（日）の両日にわたり開催されました。高槻市と高槻商工会議所が主催し、市内産業を市民に知っていただくためのイベントで、高槻市観光協会も後援団体として、高槻市とともにブースを設けて市内観光の紹介を行いました。



「たかつき産業フェア」風景

⑫「たかつき土産」認定への支援

高槻商工会議所のプロジェクトとして「高槻の魅力をお土産で感じてもらえたら・・・」との思いから発足した「たかつき土産」について、高槻市観光協会として高槻市とともに後援し、51品目の選定に参加するとともに協会ホームページ〇〇（マル・マル）ナビの特産品のサイトでPRに努めています。

C. その他の観光関連事業への協力

高槻市の観光を通じたまちづくりを推進するため、「高槻緑花推進連絡会」等へ構成団体として事業実施組織への参画や、「スクールジャズコンテスト」、「高槻酒塾」、「たかつき能楽に親しむ会」、「たかつきバル」などへの後援など観光関連事業への協力を行いました。また、高槻うどんギョーザの会がB1グランプリへの加盟により、兵庫県明石市で開催されたB1西日本グランプリ in 明石への参加に協力しました。



B1西日本グランプリ in 明石（兵庫県明石市）

（2）広報活動・観光案内事業

①たかつき観光大使の委嘱

高槻市観光協会は、本年に設立50年の節目の年を迎えることになり、さらなる観光プロモーションを効果的に推進するため、「たかつき観光大使」を委嘱

しました。高槻市や高槻市観光協会が行う観光イベントなど様々な行事に参加していただき、観光事業のPRに努めていくこととしています。たかつき観光大使には、J:COM 高槻「わがまち探偵団」で活躍のこうのきよし氏と平安女学院大学学生2名に委嘱し活躍いただいています。



たかつき観光大使の3名とオープンたかつき PR 風景

② 高槻市観光協会ロゴマークの刷新

平成30年に設立50周年をむかえる高槻市観光協会のイメージの刷新を図るため、これまで長く使用されてきたロゴマークから新ロゴマークを更新しました。「自然」を始めとして、はにわや高山右近などの「歴史」「文化」、地域性豊かな「食」「特産品」など多彩な魅力を持つ高槻市を「知るほど なるほど」のコピーにしました。ロゴマークでは、高槻市の地形を形どり、溢れる多彩な魅力を吹き出しで表現しました。新ロゴマークについては、議案書表紙を参照。

③ 高槻市観光協会公式サイト「マル・マルナビ」とオープンたかつき公式サイトとの管理運営

前年度に一新した高槻市観光協会公式サイト「たかつき〇〇（マル・マル）ナビ」の管理運営を行い、タイムリーな「お知らせ」記事の提供とともに、「たかつき土産」の紹介や「着ぐるみはにたん」貸出サイトの充実を図りました。さらに、本年度より「オープンたかつき」の公式サイトの管理運営を高槻市観光協会で行い、二つの観光情報サイトによって、高槻市内の観光情報検索サイトの充実を図りました。

④ 各種観光情報の提供

新名神高速道路高槻ジャンクション・インターチェンジの開通に伴い「知るほど・なるほど高槻観光マップ」の更新を行いました。また、高槻市の豊かな自然や歴史観光を紹介するため、市内観光地をコースで紹介する「高槻散策マップ」（市内全体11種）や観光イラストマップや摂津峡公園ハイキングマップなど無料配布したほか、「高槻市ハイキングコースマッ

プ」の有料販売（１部１００円）、及び「高槻ええとこ Book」の委託販売などにも協力しました。その他、「高槻市観光協会ニュース」（１回）を発行し、観光協会社員（会員）を始め観光案内所を通じて配布を行うとともに、日刊紙、ミニコミ紙、各種情報誌等への観光情報の提供を行いました。

⑤ 「はにたん」着ぐるみの貸出

高槻市観光協会では、イベントの盛り上げ役として人気のあるはにたんの着ぐるみを、地域振興活動および企業・個人事業者が催すイベント等のために貸出受付業務を行うことになりました。平成２９年１１月より、非営利事業への貸出は無料、商業利用（企業等の営利目的利用）への貸出は有料で貸し出しを行い、１９件の貸出を行いました。

⑥ 高槻（観光・ハイキング）ボランティアガイド事業

観光ボランティアガイド事業については、オープンたかつきの案内も含めて、９２件、参加者２，０２０名の方々に高槻市内の観光ガイドを行いました。また、ハイキングボランティアガイド事業は、１件２０人のガイド依頼を受け、高槻市の豊かな自然に触れ、安全な山歩きのガイドを行いました。

⑦ 阪急高槻市駅構内ミング阪急高槻内への観光協会事務所の移転とＪＲ高槻駅観光案内所の運営

阪急高槻市駅構内に、広く市内外に観光情報を発信する拠点として、高槻市観光情報コーナーが整備されることになり、協会設立５０周年の記念する年を前に、平成２９年１２月２５日から観光協会の事務所も高槻市観光情報コーナーの一画を占め、現在のＪＲ高槻駅観光案内所とともに高槻市の主要駅に観光拠点を構えることになりました。（観光案内業務は、年末年始を除く月曜日から土曜日の午前９時から午後５時まで）

また、ＪＲ高槻駅構内観光案内所については、観光案内及び交通・宿泊・催し等の案内、市内観光資料の配布、イベント情報の提供など窓口相談対応に努めました。（毎週月曜日と年末年始を除く、午前１０時から午後６時まで）

○平成２９年度案内業務件数

①観光案内	２，５９３件	電話対応	８２件
②交通案内	４，２８１件	電話対応	７件
③宿泊案内	３５３件	電話対応	１５件
④催し案内	１，５２３件	電話対応	３３件
⑤暮らし案内（病院など生活関連施設案内）	４，２６７件	電話対応	１５件
⑥その他（コインロッカー場所の問合せなど①～⑤に入らないもの）	１，６５１件	電話対応	２５件
⑦外国人案内対応（案内内容：観光、催し、交通等）	１６１件		



ミング阪急高槻内事務所オープン式風景

(3) 収益事業（駐車場と観光案内所運営事業）

① 収益事業については、観光案内所事業と駐車場事業であり、平成30年1月4日よりミング阪急高槻内事務所において、高槻市交通部からの定期券等の委託販売を開始しました。また、観光案内所事業では、JR高槻駅観光案内所において案内所の運営に資するため、市営バス回数券と京阪バスカードの委託販売を行いました。なお、京阪バスカードについては、平成29年9月末日をもって販売を終了しました。その他、はにたんグッズ等の販売を行いました。

・市バス回数券・京阪バスカード販売	34,251枚
・ハイキングマップ等の販売	337冊
・はにたんグッズ販売	461品目

② 駐車場事業については、摂津峡公園等に係る駐車場（下の口駐車場）について有料駐車場として経営し、観光事業全般にわたる運営経費に収益として充当しました。また、上の口駐車場については、前年度に引き続き芥川漁業協同組合に管理運営委託をお願いしました。